

【高等学校用】

令和3年度学校評価 計画

学校名	佐賀県立鳥栖商業高等学校
------------	--------------

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価アンケートについては、概ね満足できる評価結果であった。 ・「生徒の学習意欲を高めること」、「ふるさと佐賀への思いを醸成するための教育活動」などは、新型コロナウイルス感染症により教育活動が制限されたため評価が低くなった。 ・徹底した感染症対策を実施し、新たな取組や教育活動の工夫を行う。
--------------------------	---

2 学校教育目標	生徒一人ひとりの「生き抜く力」を育み、経済社会の変化に十分対応でき、平和な国家および社会の有為な形成者として、幅広い知識と豊かな心を有する、専門的知識と技能を身に付けた、心身ともに健全で実践力に富んだ人間を育成する。
-----------------	--

3 本年度の重点目標	<ol style="list-style-type: none"> ①自分の意見や考えを相手にわかりやすく伝えることができる生徒を育成する。 ②何事にも積極的に挑戦する生徒を育成する。 ③授業の工夫改善を図り、生徒の学習意欲を高め、確かな学力を育成する。 ④地域の期待に応えられる魅力と活気に満ちた学校づくりを推進する。 ⑤本校の特色ある教育活動や魅力等の発信に努め、志願者増を図る。
-------------------	--

4 重点取組内容・成果指標

(1)共通評価項目			
評価項目	重点取組		具体的取組
	取組内容	成果指標 (数値目標)	
●学力の向上	○授業の工夫改善を図り、生徒の学習意欲を高めることによる、確かな学力の育成	○「話し合いや発表などをとおして学習への意欲が高まった」と答えた生徒80%以上	・HR時にスピーチを行うとともに、読書の習慣化を図る。 ・各教科で主体的な学びを目指した授業研究会を実施する。
	○商業・流通経済・情報管理に関する考えを表現・発信し、わかりやすく相手に伝える力の推進 ○商業教育の可視化を目指した資格取得の推進	○「自分を向上させるために、言動を客観的に見つめ直し、言動の改善に取り組むことができる」と答える生徒(3年生)70%以上 ○「資格取得をとおして達成感を感じた」と答えた生徒(1・2年生)80%以上	・「課題研究」を通して、自身の研究について毎学期の発表と振り返りを行う。 ・TT、習熟度別授業、特課により、個別の生徒に対応した指導を行う。
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「高校生らしい『心遣い』の発言や他者に対して思いやりや感謝の心をもって接することができる」と答えた生徒80%以上	・人権講演会の実施 ・「情報処理」、LHRにおいて情報モラル教育、人権教育を実施する。
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○「いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対処等)について組織的対応ができています」と回答した教員90%以上	・いじめアンケートを年3回実施する。 ・いじめ問題に対して、役割分担をしておき連携して対応する。
	◎ふるさと佐賀への思いを醸成するための教育活動	◎「佐賀に誇りや愛着を感じる・どちらかというと感じる」と回答した生徒80%以上	・郷土学習資料や「佐賀語り」等を活用した授業や特別活動を行う。 ・地元企業重視のキャリア教育、就職活動の支援を行う。
●健康・体づくり	●「望ましい生活習慣の形成」 ●「安全に関する資質・能力の育成」	●「平均睡眠時間7時間」の生徒80%以上 ●感染症予防のためのマスク着用、こまめな手洗い、消毒100% ●朝食摂取率90%以上	・「保健・食育だより」の発行 ・担任及び保健委員を中心とした委員会からHRでの声かけの実施。 ・保健室来室者への個別指導。
	●安全に関する資質・能力の育成	●生徒の交通事故0を目指す	・事故発生事例を適宜生徒に周知するとともに、交通安全講習会を実施する。また、事故に遭遇した際の対応について、生徒に周知徹底する。
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・時間外電話対応システムの導入 ・定時退勤日の設定及び閉庁日の設定 ・時間外の多い職員に対し、業務内容の確認と指導を行う。

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目

評価項目	重点取組		具体的取組
	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	
○魅力と活力ある高校づくり	○地域の期待に応えられる魅力と活気に満ちた学校づくりの推進	○「地域社会の現状について知識を得るとともに、地域課題の解決に向け、日々の学びを活かそうとする」と答える生徒(3年生)70%以上	・「課題研究」の研究テーマを「地域×商業」に関連するものとし、校外で調査研究や作品制作活動を行う。
○何事にも積極的に挑戦する生徒の育成	○部活動、ボランティア活動、国際交流活動等の推進	○学校から案内される「各種イベントや大会への参加、コンテスト等」に応募する生徒80%以上	・世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業の活用 ・部活動加入の推奨 ・海外交流、ボランティア、コンテスト等の情報提供と推奨
○本校の特色ある教育活動や魅力等の発信に努め、志願者増を図る。	○本校生徒が伝統と校風に「プライド」を持ち、一人ひとりが「楽しさ」を感じる学校生活の推進 ○本校の魅力を中学校に情報発信する。	○学校生活アンケート等で「学校生活が楽しい。」と答える生徒80%以上 ○一般選抜試験の競争倍率1.1倍以上	・各種学校行事を生徒とともに見直す。 ・HP更新や学校だより等で情報発信に努める。 ・体験入学・体験入部などを企画し実施する。

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・
----------------------------	---